

関西慶應寮和会新聞 第8号

A. 定期役員・幹事会開催

2月2日(土)15:00から、大阪市:中之島プラザで定期役員・幹事会が開催されました。

出席者 由良豊一(40商)、増田登(40商)、相本琢郎(41法)、阪本光宏(61商)
 浄住徹朗(H5経)、宮崎博(H16経)、松永修(58工)

会の開催に先立ち、由良会長からご挨拶がありました。

<由良会長から年初の言葉(要旨)>

①当初目的達成のため、正念場の2年目に突入した!

②役員・幹事全員が率先・垂範して果敢に汗しよう!

次いで、3件の議案を審議しました。

1. 第1号議案(総論) 15時~16時

・改造人事・会長の委嘱で、幹事の補佐を廃止し、事務局を新設する。

(幹事の部)

- ・事業担当 青嶋(留任):事務局がヘルプ
- ・企画担当 阪本(兼任):事務局がヘルプ
- ・渉外担当 西村(新任):事務局・特命がヘルプ
- ・広報担当 松永(留任):事務局がヘルプ
- ・特命担当 酒井、松本、小林、浄住、宮崎

(事務局の部)

- ・増田事務局長(兼)会長補佐・会長席(留任)
- ・阪本事務局長補佐:(兼)会計・本部担当(留任)
- ・浄住事務局員(兼):名簿担当(新任)・舎生担当(留任)

以上敬称略

2. 第2号議案(反省) 16時~17時

・第2回懇談会:報告事項

(青嶋講話)(スポーツバー)(納会)について

概ね 成功!(講師役・設営役・進行役に会長席より謝意)

(略式会計収支報告)(会員名簿・関西寮和会新聞)について

名簿・新聞は労作(名簿・広報担当に、会長席より謝意)

3. 第3号議案(討議) 17時~17時半

・第3回懇談会・決議事項

(日時)(場所)(内容)について

日時は、4月20日(土)にて決定するも、時間は未定。

場所は事業担当も交え、事務局(増田、阪本、浄住)で、一週間目途で決定し本番二ヶ月前2月20日)に会員宛案内できるようにする。内容は講話は省き、1回目の<歩く>・2回目の<観る>に引き続き、3回目は<学ぶ>とし、伝統文化を楽しむ方向で検討する。

4. その他(フリートーク) 17時半~18時

当該会員には、毎回参加を強いるのではなく年1回は出たくなる<雰囲気づくり>に心して、毎回30名程度を集客目標としたい。定例総会時の開催は出来れば、50名前後の参加を確保したい。
 <増田会長補佐より中締め言葉(要旨)>

①ボランティアには 多忙・ストレスなるワードは禁句だ!

②テーマ<学ぶ>に向け、全力投球・成就 そして美酒を!

B. お楽しみ会(懇親会) 18時~20時

お楽しみの少し遅い新年会を、中之島プラザで開催しました。話題の中心は、今後の運営の話から、皆様の趣味まで幅広く。その中で昨年12月に由良会長がホノルルマラソンに、出場されたそうで、記者がインタビューしました。(内容は次頁)そんな楽しい話をしているうちに夜も更け、次回からの健闘を約束しながら、名残惜しく散会しました。

C. 記者雑感

今回の審議は、出席者の考えている今後の進め方の課題・懸念点について本音で討議出来たので大変よかったと思います。寮和会本部は身近な処に舎生がいるので、彼らとの交流の中で会を充実させることが可能です。しかし舎生が近くにいない関西慶應寮和会の場合はその線で進める事は出来ません。ありきたりの同窓会を目指すのではなく高いものを目指すためには、お互いが成長出来る勉強会が望ましいのですが、多くの会員に出席してもらう為には魅力的な企画とPRが必要と考えます。そのためにも、一連のテーマを明確にした楽しい企画を行って参りますので、会員の皆様のご理解・ご協力を宜しく願います。

D. OFF・TIME

今回から役員・幹事の素顔を、会員の皆様にご紹介するために、ご趣味を紹介します。まずは由良会長から。由良会長は年に一度の「ホノルルマラソン完走」を趣味にされています。

ホノルルマラソンは、年一度、12月の第二日曜日に定例的に開催されていますが、例年二万四、五千人～三万人の参加者が有り、そのうち日本人が半数以上。レース参加資格は特になしで、体調申告は自己責任です。

その頃の気温は20度後半であり、なんと言っても過酷なマラソン。日頃のトレーニングがものを言います。

由良会長の昨年12月のタイムは6時間42分。完走者には全て、完走証が交付されます。(写真1) ちなみに、由良会長の奥様は4時間の壁を破る健脚とのことで、以前に年齢別3位の盾を貰われたそうです。

由良会長は、社長のお立場で多忙な日々を送っておられますが、ホノルルマラソンを一年の体調管理のベースにされているとのこと。

一年の前半は、体調管理につとめ、後半は走り込みで体力を作り、レースに臨まれます。

昨年12月に走った時はホノルル三田会の応援もあり、楽しく完走されたとのこと。

(写真2) 今後の目標を聞いたところ、「走れる時まで走る」との力強いご返事を頂きました。

以上

JALホノルルマラソン コース概要

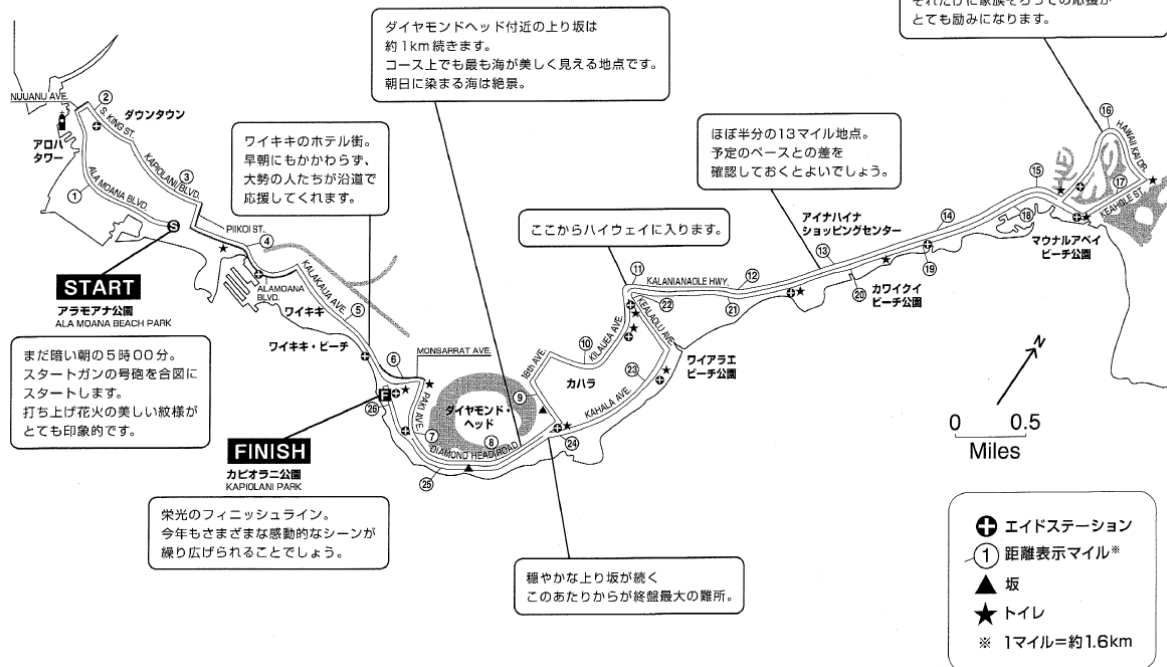


写真1. 由良さん完走証



写真2. 三田会の応援で力百倍